しずおか

砂防だより

NO. 220
2026.7.15

静岡県支部通常総会 …… 2
(一社)全国治水砂防協会通常総会 …… 3
土砂災害防止月間の取組 …… 4
・土砂災害防止月間啓発活動の実施
・砂防フェスティバル2026の開催
・路線バス等のフロント広告を活用した啓発
「土砂災害・全国防災訓練」を実施 …… 6
土砂災害防止法　2巡目の区域指定 …… 7
令和7年度砂防関係事業の代表的な完成箇所 …… 8
わがまち(掛川市) …… 9
歴史探訪 河井弥八
インフォメーション …… 10
募集・お知らせ …… 12

特集 第81回全国治水砂防協会静岡県支部通常総会

土砂災害防止月間の取組

速報 土砂災害・全国防災訓練を実施

特集 土砂災害防止法2巡目の区域指定

全国治水砂防協会静岡県支部

特集

本県の砂防事業の一層の促進を呼びかける

静岡県支部通常総会を開催

須藤支部長の挨拶

5月21日(木)に、全国治水砂防協会静岡県支部の令和８年度(第81回)通常総会を静岡市内で開催し、会員(市町長等)34名と、各土木事務所長が出席されました。

開会にあたり、支部長の須藤富士宮市長から、昨年は土砂災害が少なく穏やかな1年であったものの、長期的な視点に立つと、豪雨の激甚化・頻発化による土砂災害の増加の懸念があることに触れ、県民の生命・財産を守る砂防事業について、県や協会本部と連携した土砂災害対策の一層の促進や、市町の警戒避難体制の整備、住民への周知啓発等に資する協会活動の充実を呼びかけました。

続いて、来賓の塚本副知事、佐地県議会副議長、国土交通省砂防部の國友砂防部長、(一社)全国治水砂防協会の大野理事長より御祝辞をいただき、中部地方整備局河川部長及び沼津河川国道事務所長、富士砂防事務所長の紹介の後、議案の審議が行われ、令和7年度の事業報告と収支決算報告、令和８年度の事業計画と収支予算が原案どおり承認されました。

多数の会員の皆様に御出席をいただき、誠にありがとうございました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。

塚本副知事の御祝辞

佐地県議会副議長の御祝辞

國友砂防部長の御祝辞

大野理事長の御祝辞

参加市町

富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、川根本町、伊東市、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、清水町、小山町、吉田町(計34市町)　**※太字は首長が参加(11市町)**

土砂災害対策講演会を開催

総会終了後に、土砂災害対策講演会を開催し、國友砂防部長には「砂防行政の最近の動向について～「いのち」と「くらし」と「なりわい」を守る砂防～」と題し、「産業、なりわい」を守る砂防事業について本県の事例を交えながら紹介いただくとともに、新規施策やDX、地域活性化など、砂防に関する最新の取組について講演していただきました。

続いて、大野理事長には「土砂災害と砂防」と題し、火山噴火に係る砂防事業を中心に、降灰後土石流などに対する火山ハザードマップの作成や緊急調査、ブロック堰堤の設置など、平常時や緊急時に実施する対策について講演していただきました。

國友砂防部長の講演

大野理事長の講演

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月28日(木)に、(一社)全国治水砂防協会の令和８年度(第90回)通常総会が砂防会館で開催されました。当日は、多くの国会議員とともに、全国各地から多数の会員（市町村長）が出席され、当支部からは、18名の会員に御出席いただきました。

森山会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、令和７年度の事業報告と収支決算報告、全国の砂防関係事業の拡充・促進を図る令和８年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。

森山会長の挨拶

佐々木国土交通副大臣の御祝辞

参加市町

富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、川根本町、御前崎市、東伊豆町、袋井市、伊豆の国市、河津町、西伊豆町、函南町、長泉町、三島市、伊東市、御殿場市、富士市、小山町（計18市町）　**※太字は首長が参加（13市町）**

特集

令和8年度「土砂災害防止月間」

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線等により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる６月を**「土砂災害防止月間」**とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

令和８年度の主な活動

- 国や市町と連携した啓発活動の実施
  JR県内主要駅（静岡・浜松・沼津）での啓発活動
- 砂防フェスティバル2026の開催
- 路線バス等のフロント広告を活用した啓発
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施
- 急傾斜地パトロールの実施
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示

1 土砂災害防止月間啓発活動の実施

土砂災害の発生状況や砂防関係事業のハード・ソフト対策の取組に関する情報を発信し、県民の皆様に土砂災害防止に対する理解と関心を深めていただくよう、啓発活動を実施しました。

JR主要駅（静岡・浜松・沼津）での啓発活動

6月1日(月)に、県、国土交通省静岡河川事務所、静岡地方気象台、静岡市の職員が、JR静岡駅改札前コンコースで、早めの避難を促す土砂災害防止のリーフレットや5月29日から運用を開始した新たな防災気象情報に関するチラシ、啓発グッズ等を配布する啓発活動を行いました。

今年度も、浜松駅と沼津駅でも、県、浜松市、沼津市の職員が啓発活動を行いました。

JR静岡駅での啓発活動

2 砂防フェスティバル2026の開催

6月20日（土）に、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市の共催により、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2026～」を開催しました。

このイベントは、砂防関係事業のハード・ソフト対策の取組に関する情報を発信し、県民の皆様に土砂災害防止に関する理解と関心を深めていただくことを目的に毎年開催しています。県のブースではパネル展示による事業紹介に加え、土砂災害に関するアンケートやクイズを行いました。当日はあいにくの雨となりましたが、御来場された方には、スタッフが説明しながら、ひとつひとつ展示を丁寧に御覧いただきました。

静岡県ブース

パネルの紹介

の取組 6月1日(月)~30日(火)

3 路線バス等のフロント広告を活用した啓発

土砂災害防止のキャッチフレーズ「日頃の備えと早めの避難」の広告幕をバスに取り付けて、県内各地で幅広く啓発する取組を令和3年から開始しています。今年は、路線バス5社と17市町のコミュニティバスの合計183台に拡大しました。

この取組では、県内の都市部から山間部までの広域に、バス運行時間の長時間にわたり、バス利用者やすれ違い車両、歩行者等の道路利用者に幅広く啓発できる効果を期待しております。

なお、6月2日(火)には、静岡市内のバス営業所において、バスフロント広告幕の引渡式を行いました。

引渡式

市町コミュニティバス(左から藤枝市、富士市、浜松市)

バスフロント広告	東海バス、伊豆箱根バス、富士急バス、静鉄バス、遠鉄バス（全5社） コミュニティバス（静岡市、浜松市、沼津市、三島市、富士宮市、島田市、富士市、焼津市、藤枝市、袋井市、下田市、湖西市、函南町、長泉町、小山町、川根本町、森町（全17市町）） 合計183台

4 その他の広報活動

公用車による広報（マグネットシート掲示）	35市町、各土木事務所
横断幕、懸垂幕、立看板の掲示	静岡市、浜松市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、清水町、川根本町、森町（全25市町）、各総合庁舎等
ポスターの掲示	県内ファミリーマート501店舗、各市町役場等、各総合庁舎等
県庁の展示	本庁前立て看板、東館2階ロビー、東館4階通路

「土砂災害・全国防災訓練」を実施

～声かけて、みんなで動く、まず避難～

6月7日(日)の全国統一実施日を中心に、**「土砂災害・全国防災訓練」**を実施しました。

この訓練は、6月の「土砂災害防止月間」の取組のひとつとして、土砂災害に対する警戒避難体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的に土砂災害警戒区域等の住民や要配慮者利用施設等が参加する実践的な訓練です。

今年度は、昨年の台風第15号等で発生した土砂災害の教訓を生かし、より実効性のある訓練として「声かけて、みんなで動く、まず避難」をキャッチフレーズに、地域内での呼びかけによる避難や安全を確認する訓練を重点的に行いました。

統一日には、21市町で地域住民や関係機関など約1,100人が実動訓練に参加し、レベル4土砂災害危険警報や避難指示に伴う住民や要配慮者等の避難訓練を行うとともに、ハザードマップで危険な区域や避難場所、安全な避難路を確認するなど、自助・共助による防災意識を高めました。また、訓練終了後には、県・市職員による講習会を実施し、「日頃の備え」や「早めの避難」について理解を深めていただきました。

今年も、市町や関係機関が主体で行う「モデル地区訓練」と地域住民が主体で行う「地域訓練」を県内の全35市町で実施する予定です。

訓練参加市町

◆6月7日(日) …… 沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、袋井市、下田市、伊東市、裾野市、御前崎市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、森町

◆6月7日(日)以外 … 静岡市、浜松市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、湖西市、伊豆市、菊川市、吉田町、川根本町

訓練の状況

ハザードマップの作成
（6月7日：西伊豆町）

避難経路の確認
（6月7日：御前崎市）

要配慮者施設の避難訓練
（6月7日：清水町）

情報伝達訓練
（6月7日：富士宮市）

消防隊員による図上訓練
（6月7日：東伊豆町）

土砂災害防止講習会
（6月7日：函南町）

避難所の設営
（6月7日：小山町）

避難所の開設
（6月7日：松崎町）

避難場所の確認
（6月7日：河津町）

特集

土砂災害防止法 2巡目の区域指定

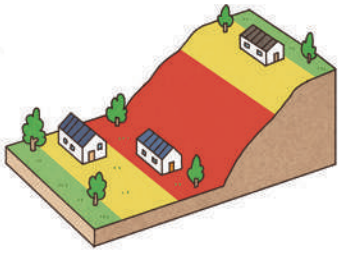
土砂災害防止法に基づき、土砂災害により被害を受けるおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」に指定しています。

本県では、令和元年度までに18,000以上の区域を指定し、土砂災害に対して、早めの避難により命を守るため、市町と連携して警戒避難体制の整備などのソフト対策を行ってきました。(1巡目の指定)

豪雨の激甚化・頻発化により、近年は土砂災害が増加傾向にあり、全国的にも未指定の場所で土砂災害が発生している事例が見られることから、高精度な地形情報を活用して区域指定の対象箇所を抽出し、2巡目の指定に着手しています。

土砂災害警戒区域：崩壊した土石等によって、被害を受けるおそれがある区域
土砂災害特別警戒区域：崩壊した土石等によって、住宅等の建築物が倒壊し、住んでいる人の生命や身体に大きな被害が生じるおそれがある区域

土石流


急傾斜地の崩壊

経緯・取組状況

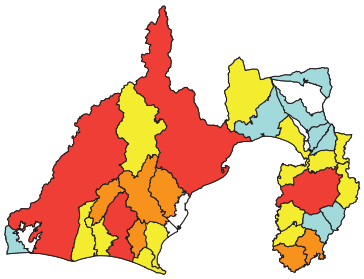
<1巡目 基礎調査・区域指定の完了>

平成13年度の土砂災害防止法の施行後、静岡県内全域の危険箇所の基礎調査を実施しました。

その結果、令和元年度までに18,215箇所を区域指定しました。

市町別指定区域数
(1巡目の指定)

～99
100～249
250～499
500～999
1000～



<候補箇所の抽出>

令和2年度から高精度な地形情報(航空レーザー測量による3次元点群データ)を整備・活用し、土砂災害警戒区域に指定対象となる箇所(候補箇所)を新たに抽出しました。

3次元点群データによる候補箇所抽出のイメージ

<候補箇所の公表>

令和6年3月に県内9,047箇所(土石流2,862箇所　急傾斜6,185箇所)を公表し、静岡県GISで公開※しました。

※右の二次元コードから確認できます。

(箇所)

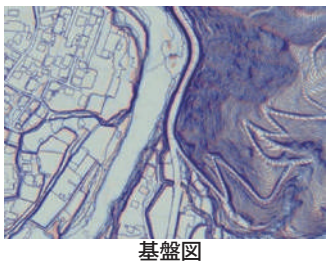
下田市	208	伊東市	240	函南町	142	島田市	202	掛川市	782
東伊豆町	105	沼津市	297	清水町	11	焼津市	11	袋井市	233
河津町	92	三島市	119	長泉町	35	藤枝市	191	御前崎市	290
南伊豆町	169	御殿場市	154	小山町	164	牧之原市	205	菊川市	462
松崎町	101	裾野市	122	富士宮市	82	吉田町	6	森町	227
西伊豆町	81	伊豆市	442	富士市	64	川根本町	127	浜松市	2,010
熱海市	142	伊豆の国市	154	静岡市	945	磐田市	283	湖西市	149

静岡県GISで公開

詳しくはこちら

<2巡目 基礎調査・区域指定の実施>

候補箇所に対して、基盤図と現地での詳細な調査(基礎調査)を行い、土砂災害警戒区域の指定要件の確認及び区域範囲を明確にしたうえで、順次、区域指定を進めていきます。


基盤図

基礎調査

令和8年度の取組

- これまでに基礎調査が完了した箇所を対象に、順次、区域指定を進めていきます。
- 今年度の基礎調査は、県内で500箇所以上で実施します。
- 円滑に調査・指定を進めていくため、5月19日に「令和8年度砂防基礎調査合同説明会」を開催し、調査会社の担当者や土木事務所の職員60名以上が参加しました。

令和８年度 砂防基礎調査合同説明会

令和7年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂　防　事　業

●雲見川（くもみがわ）砂防堰堤工　（賀茂郡松崎町雲見地先）

雲見川では、災害関連緊急砂防事業で砂防堰堤1基を整備し、人家16戸の保全を図りました。

●郷島沢（ごうじまさわ）砂防堰堤工　（静岡市葵区郷島地先）

郷島沢では、事業間連携等砂防事業で砂防堰堤1基を整備し、人家28戸の保全を図りました。

急傾斜地崩壊対策事業

●内牧内宮（うちまきうちみや）A　法面工　（静岡市葵区内牧　地内）

内牧内宮Aでは、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業で法面工を整備し、人家5戸の保全を図りました。

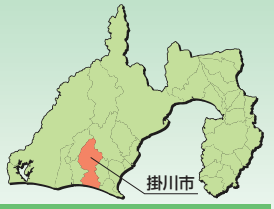
●長岡左近山（ながおかさこんやま）　擁壁工　（伊豆の国市長岡　地内）

長岡左近山では、擁壁工を整備し、人家22戸と市道および重要防災拠点である順天堂大学医学部附属静岡病院の保全を図りました。

※令和7年度に完成した箇所

事業名	箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
砂防	雲見川	下田土木	賀茂郡松崎町雲見	250	R5	透過型、H=10.0m、L=37.5m
	郷島沢	静岡土木	静岡市葵区郷島	184	R2	透過型、H=5.5m、L=30.0m
	旭ヶ丘西沢	島田土木	藤枝市原	215	R4	不透過型、H=6.5m、L=29.0m
	中条川左支川	沼津土木	裾野市下和田	335	R1	不透過型、H=9.5m、L=50.5m
急傾斜地崩壊対策	下多賀大縄	熱海土木	熱海市下多賀	66	R6	法面工　A=330m2
	西熱海町	熱海土木	熱海市西熱海町	59	R6	法面工　A=445m2
	口野尾高B	沼津土木	沼津市口野	108	R2	法面工　A=2,100m2
	長岡左近山	沼津土木	伊豆の国市長岡	579	H26	擁壁工　L=193m
	大久保No.3	沼津土木	伊豆市小下田	280	H29	擁壁工　L=160m
	間門峯山	富士土木	富士市間門	560	R1	崩壊土砂防護柵工　L=349m
	内牧内宮A	静岡土木	静岡市葵区内牧	64	R6	法面工　A=610m2
	伊佐布矢下川原	静岡土木	静岡市清水区伊佐布	70	R4	法面工　A=300m2
	伊佐布坂井沢	静岡土木	静岡市清水区伊佐布	225	R2	擁壁工　L=150m
	水川橋向	島田土木	榛原郡川根本町水川	368	H29	擁壁工　L=365m
	北ノ谷A	袋井土木	菊川市半済	284	R2	擁壁工　L=160m
	船明A	浜松土木	浜松市天竜区船明	91	R3	擁壁工　L=64m

※地すべり対策事業は完成箇所無し



掛 川 市

掛川市は、静岡県西部のほぼ中央に位置し、北には緑深い粟ヶ岳や山間の茶畑が広がり、南には遠州灘へと続くなだらかな台地と田園地帯が開けています。市内には原野谷川や逆川などの河川が流れ、山・川・海がコンパクトにまとまった自然豊かなまちです。本市では、古くから東海道の宿場町として栄えた歴史や、良質な茶の産地として培われた産業・文化に加え、四季折々の里山の景観を楽しみながら観光や体験を満喫することができます。

市内には、日本の名城として知られる掛川城や、周辺の城下町の町並み、世界各地の鳥たちと触れ合える「掛川花鳥園」、広大な茶畑と牧歌的な風景が楽しめる「粟ヶ岳茶文字」や「東山いっぷく処」など、数多くの観光スポットがあります。

掛川城天守閣

一方で、掛川市は中山間地域を多く抱え、急傾斜地や谷あいの集落が点在していることから、土砂災害や浸水被害のリスクを有しています。市域の地目別面積では山林が大きな割合を占め、令和8年3月末時点において県内で3番目に多い1,348か所が土砂災害警戒区域に指定されているなど、近隣市町と比較しても災害への備えが重要な地域です。これまで、砂防堰堤や急傾斜地崩壊対策工事、河川改修や排水路整備などのハード対策に加え、地域住民と連携した避難訓練やハザードマップの周知、防災講座の開催などソフト対策にも取り組んできましたが、依然として整備を必要とする箇所が数多く残されています。

三熊野神社大祭

今後も、一刻も早く住民の皆様が安心・安全に暮らせるよう、防災・減災対策の一層の推進に努めてまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

歴史探訪

河井 弥八

～治水砂防事業に尽力した郷土の偉人～

河井弥八

河合弥八は、明治10年に上張村（現在の掛川市上張）に生まれ、東京帝国大学を卒業後、文部省へ入省しました。後に人柄と能力を買われて宮内省に入り、侍従次長兼皇后大夫となって天皇皇后を支え、その後は政界に転じて貴族院、参議院議員を務め、参議院議長にもなりました。

河合弥八は、貴族院議員時代から林業や治水砂防に関心を寄せており、同僚で「砂防の父」と称される赤木正雄の思想と行動力に共感し、ともに活動しました。

全国の実状を知るために災害地や砂防工事を視察し、治水砂防の重要性を国会で訴え、国の砂防予算の増額を働きかけました。また、昭和15年に全国治水砂防協会の顧問に就任（昭和22年に理事長、昭和31年に副会長に就任）し、協会の発展や砂防会館の建設に尽力しました。昭和21年に全国治水砂防協会静岡県支部長に就任し本県砂防事業の推進を支援しました。（出典：静岡県砂防誌、河合弥八記念館パンフレット 他）

掛川市南郷地域生涯学習センター内に河井弥八記念館が併設されていますので、ぜひお立ち寄り下さい。

昭和29年静岡県砂防協会総会（一番右）

富士山大沢崩れを視察する河井弥八（一番右）

河井弥八記念館
（掛川市南郷地域生涯学習センター内）
【住　所】〒436-0022 掛川市上張192-1
【開館日】日曜日
【時　間】10:00～15:00

土砂災害防止法連絡会を開催しました

4月27日(月)に、土砂災害防止法の円滑な運用を図るため、建築・都市・防災行政など庁内関係部局の意見調整を行う「土砂災害防止法連絡会」を開催しました。

今回は、令和6年度末から着手した2巡目基礎調査のもと、今年度から新規区域指定を進めるにあたり、地元説明会の開催等、今後関係部局との調整が必要な項目を情報共有したほか、防災気象情報における新たな運用について、情報提供しました。

連絡会の様子

水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会を開催しました

5月20日(水)から29日(金)にかけて、賀茂・東部・中部・西部の県内4会場で、県及び市町の河川・砂防・防災及び開発担当職員を対象に、「水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会」を開催し、約130名が出席しました。

県や静岡地方気象台の職員から、土砂災害に対する警戒避難体制の整備や、水防や流域治水の取組、新しい防災気象情報など、本格的な出水期を前に、防災担当者として留意すべき点について説明を行うとともに、要配慮者利用施設における避難訓練の実施向上を図るため、参加市町の取組を共有し、課題や今後の対応等について意見交換を行いました。

西部地区での意見交換会の様子

東海地区砂防課長会議・東海ブロック砂防主管課長会議が開催されました

5月22日(金)に、東海地区砂防課長会議・東海ブロック砂防主管課長会議が愛知県庁で開催され、国土交通省砂防部砂防計画課山田課長補佐、保全課土屋課長補佐、中部地方整備局阿部地域河川調整官をはじめ、岐阜県・愛知県・三重県の各県の砂防主管課長等が出席しました。

会議では、国土交通省砂防部から「いのち」と「くらし」と「なりわい」を守る土砂災害対策の進め方や、砂防DXの全国展開に向けた課題のほか、各県からの提案議題について、活発な討議が行われました。

会議の様子

安倍川大規模土砂災害合同防災訓練が開催されました

5月26日(火)に、国土交通省静岡河川事務所主催による安倍川大規模土砂災害合同防災訓練が開催されました。

この訓練は、様々な事象により発生する大規模土砂災害(河道閉塞、地すべり、その他同時多発的に発生する土砂災害)に対し、国土交通省、静岡県、静岡市等の各防災担当者の災害対応能力向上を目的に、令和4年度から実施しています。

今年度は、令和6年能登半島地震・奥能登豪雨を踏まえて、地震発生後に降雨が発生する複合災害を想定した災害シナリオにより、関係機関が連携して対応する「質疑応答型訓練」を実施し、災害時の局面に応じた判断力や関係機関の調整等に関して、高度かつ総合的な対応能力の向上を図りました。

参加機関による質疑応答訓練の様子

市町等砂防担当職員研修を開催しました

6月5日(金)及び12日(金)に、県庁と下田総合庁舎で、「市町等砂防担当職員研修」を開催し、市町及び県の砂防・防災関係職員52名が参加しました。

この研修は、本格的な雨期を迎えるにあたり、土砂災害に関する防災気象情報等の理解とともに、防災情報を確認できるウェブサイトの操作方法を学ぶ実践的な研修です。

当日は、静岡地方気象台から本県の気象特性や5月29日から運用開始した新たな防災気象情報等について説明をいただくとともに、砂防課からは、県ホームページで公開している「レベル4土砂災害危険警報補足情報システム」について、参加者にパソコンを操作していただきながら、避難指示の発令を想定した危険度判定や避難対象地区の絞り込み等の演習を行いました。

システムの操作演習の様子

直轄砂防事務所合同打合せ会を開催しました

6月11日(木)に、「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会」を、静岡駅前会議室で開催しました。合同打合せ会は毎年、県内の3つの直轄砂防事務所(沼津河川国道事務所、静岡河川事務所、富士砂防事務所)と県砂防課が、本年度の事業計画や最新の取組、連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に開催しています。

今年度は、各機関による事業実施状況の報告後、不調・不落対策等の意見交換をはじめ、新たな防災気象情報の伝達方法等を情報共有しました。

打合せ会の様子

第44回土砂災害防止「全国のつどい」in 滋賀が開催される

～本県の元砂防課長の松本比呂志氏が砂防ボランティア功労者表彰を受賞～

6月11日(木)に、「第27回砂防ボランティア全国のつどい」と「令和8年度(第44回)土砂災害防止「全国のつどい」in滋賀」が滋賀県大津市で開催されました。

「砂防ボランティア全国のつどい」では、本県の砂防ボランティア活動に永年にわたって貢献された松本比呂志氏が功労者として表彰されたほか、砂防施設の点検や啓発等のボランティア活動事例が報告されました。

「全国のつどい」では、「近代砂防発祥の地　滋賀からの警鐘～田上山砂防150年の歴史、変わりゆく土砂災害の要因～」をテーマに、滋賀県の砂防の歴史と対策についてパネルディスカッションが行われました。また、ポスターセッションにおいて、本県から、砂防カードの配布や小中学校への出前講座による土砂災害に対する「自分事化」の取組を紹介しました。

12日(金)には、現地研修会が実施され、滋賀県が整備している百瀬川の天井川切り下げ事業地や伊吹山のシカ食害による裸地・荒廃状況、砂防堰堤の施工現場の視察を行いました。

砂防ボランティア功労者表彰　松本比呂志氏

急傾斜地パトロールの実施

～関係機関や砂防ボランティアとの協働～

急傾斜地崩壊危険区域において、県、市町、警察や消防等の関係機関及び砂防ボランティアと連携し、擁壁等の防止施設の異状の有無や斜面の状況等を点検する急傾斜地パトロールを実施しました。

このパトロールでは、令和2年度からタブレットを活用した点検を行っており、結果の入力や報告書作成などの事務作業の軽減を図っています。

これからも施設を適切に管理していくため、県が策定した長寿命化計画に基づき、健全度に応じた定期的な点検と計画的な補修を進めていきます。

パトロールの様子

【令和8年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しています。
御活用いただきありがとうございました。

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】 小・中学生　　【応募期間】 6月1日(月)～9月14日(月)

【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記してください。

【応 募 先】 〒420-8601　静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部砂防課　砂防班
TEL.(054)221-3044　FAX.(054)221-3564

詳細は、砂防課ホームページからもご覧いただけます。
https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/1076945/index.html

小中学校における出前講座の募集

土砂災害のおそれのある地域の小中学校を対象に、児童や生徒の防災意識の向上を図るための出前講座を実施しています。土砂災害警戒区域内に立地する小中学校は避難確保計画に基づく避難訓練の実施が義務付けられていますので、避難訓練とあわせた出前講座を希望する学校は県砂防課まで御連絡下さい。

令和8年 8-12月 砂防関係の主な行事

8月27日(木)～29日(土)	市町長等砂防関係事業県外視察(三重県、和歌山県)
10月23日(金)	東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(岐阜県内)
10月26日(月)～27日(火)	(一社)全国治水砂防協会　令和8年度砂防現地視察と討論会(静岡県内)
11月12日(木)	全国治水砂防促進大会(砂防会館)
11月12日(木)	静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館、国土交通省等)
11月下旬	市町等砂防担当職員研修(現場研修)

【表紙写真】
感動の水田ダイヤ
〈撮影地：富士宮市〉
写真提供：「第6回静岡県農村の魅力フォトコンテスト」準特選

※砂防協会では表紙写真に掲載する静岡県内の写真を募集しております。
皆様の御協力をお願い申し上げます。
詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後・記

風鈴の音や夕暮れの空に、夏のやさしい風情を感じる頃となりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

5月21日(木)、静岡市内において令和8年度(第81回)全国治水砂防協会静岡県支部通常総会等を開催いたしました。あいにくの天候ではございましたが、多くの市町の皆様に御出席いただき、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。引き続き、市町長の皆様をはじめ、関係者の皆様、そして地域の皆様と緊密な連携を図りながら、県民の暮らしとなりわいを守るため、一丸となって取り組んでまいります。今後とも、御支援、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

暑さが厳しくなる季節です。熱中症には十分お気を付けいただき、夏ならではの景色やひとときを楽しみながら、健やかにお過ごしください。

全国治水砂防協会静岡県支部　吉澤 舞里子

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。
https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/1076945/index.html

砂防だより

第220号 発行日：令和8年7月15日
編集・発行：全国治水砂防協会静岡県支部
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号　静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
TEL(054)221-3042　FAX(054)221-3564　E-mail：sbkk_s@yahoo.co.jp